

拝啓

我が家も久しぶりに 鯉のぼりを出し
元気よく泳いでいる姿を見ると こちらも 元気に
なります。

さて この 度、1年4ヵ月の 支援を受け、卒業
させて 預く 事になりました。

佐藤先生、子どもに 寄りそい、不安や 勇気
づけをして 預いた 訪問カウンセラーの先生方、
ありがとうございました。

■ はこの春、無事に6年生になりましたが、
3年生の春頃、体に不調が次々 起り 休む様にな
りました。色々な病院に行きましたが、最終的に
子どもの心療内科へ行きました。そこで「子どもの
全てを受け入れ、沢山甘えさせ、本人が望む事を
全てやらせ、本人が動き出すまで待ちましょう」
と言われ、私も必死にその通りに頑張りました。

しかし1年間は 特に動き出さず 4年生では、

登校できても、別室登校、母子登校、五ヶ月登校
が1年程続きました。

私も毎日精神的に疲れてしまい、その頃、ペア
レニツキャンプの本を手に取り、アドラー心理学に少
し興味があった私は、こちらにお願いしようと
決意しました。

支援が始まり、毎回の電話カウンセリングを受け
子どもとの関わり方が少しずつ分かってきました。
それだけでもバ強く毎回のカウンセリングは
充実した時間でした。もっと早く支援を受け
家庭教育を学びたかったと何度も思いました。

復学後は思ったよりも、行き渡りせ問題が
多あり... 毎回不安でしたが色々な問題があ
ったおかげで、先生の指導を沢山受けられ、
今は、様々な問題が起っても、対処のし方が
分かる様になりました。

又、他の兄弟もペアレンツキャンプで学んだ事を
生かし接していると、トラブルもなく、自分自身で
解決する力が着いてきている様に思います。

一番、嬉しいのは [redacted] が自分で考え行動
できる様になった事です。又、兄弟の中でも一番
しっかりしてきた様に思います。今ではチャレンジ
したい事が次々と溢れてきていて、頼もしいかぎ
りです。

私共は九才ですので支援は難しいのではない
かと考えておりましたが、遠方にも関わらず手厚い
支援をして頂き、ありがとうございました。

これからも時々本を手に取り、初めにリハビリつ
さらに学び続けたいと思います。

水野先生、佐藤先生を始め、先生方、スタッフの皆様
にはこれからもすばらしい支援を広めて頂きたいと願っ
ております。

敬具